

## 会議録(令和5年度酒田市食育・地産地消推進委員会)

### 1. 報告

#### (1) 令和5年度各所属団体の取組み(実績)について

#### (2) 令和6年度各所属団体の取組み(予定)について

出席委員より報告(発言)のあった内容については、以下のとおり。

※進捗状況調査票に記載の内容と重複する場合、省略している場合があります。

※(P・No)は、進捗状況調査票の頁番号及び施策番号に対応しています。

#### 【酒田市小学校長会】

- ・(P1・No.2, No.7, No.10, No.18)給食の時間を中心に、主に担任が指導している内容である。食事の挨拶や盛り付け、残さずに食べられる量などの指導を行っている。
- ・(P1・No.8, No.12, No.13, No.24, P2・No.54)PTAと連携した生活リズム強調週間や学校保健委員会、校内の栄養指導等で保護者の協力を得ながら実施している。
- ・(P2・No.35, No.37, No.45)栄養士や給食主任等の協力を得ながら、全体において計画指導を実施している。
- ・(P2・No.26, No.31)5・6年生を中心とした家庭科の調理実習の中での指導である。また、各企業やスポーツチームにも協力いただきながら取り組んでいる。
- ・(P1・No.23, P2・No.38)「心を育む学校給食週間」を、各学校で設けている。感謝の気持ちや食事のマナーなどを教えている。
- ・(P1・No.17, No.19, No.20, P2・No.29, No.63, No.64, No.83)地域と連携、協力をしながら実施。食物を育てる→収穫→いただくというような一連の作業を、地域の状況に応じて進めている。
- ・(P1・No.13)親子で一緒に考えるということをねらいとした、親子試食会を来年度計画したいと言っている学校がある。
- ・(P2・No.63)地域の方々との給食試食会を計画したいと言っている学校もある。

#### 【酒田市中学校長会】

- ・中学校では、「心づくり・体づくり・行いづくり」という観点から食育を進めている。中心となるのはやはり学校給食。
- ・(P3・No.1, No.2, No.7, No.23, No.25, No.38, No.40, No.80)このあたりは給食を中心とした取り組みである。協力して準備をする、生徒委員会で献立構想を考える、給食調理員さんに感謝の気持ちを伝える、SDGsを絡めた残菜ゼロ運動に取り組む、楽しい会食を行うというような取り組みを各学校で行っている。コロナが5類に移行したと言っても、グループ毎向き合った形での給食というのは、おそらくどの中学校でも行っていないで、黒板の方を向いて多少会話をしながら、という形で食事をとっている。
- ・(P3・No.24, No.26, No.37)授業を通した取り組み。家庭科や保健の授業を中心にしながら、栄養やバランスのよい食事、家族と食事をするの意味合い等を学んでいる。家庭科では、授業で作ったものを家でも作ってみるといふ、つながりを持てるような取り組みを行っている。
- ・(P3・No.12, No.23, No.24, No.34)保護者や地域、家庭と連携しながらの取り組み。朝食を含んだ生活リズムについてさまざまなアンケートを行い、実態を調査している。肥満と絡めた間食の指導を行ったり、地域での研修会を開催したりしている。
- ・令和6年度については、今までの取り組みをブラッシュアップしつつ行っていく中で、新たな取り組みも生まれてくるのではないかと考えている。

### 【酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会】

- ・(P5・No.1、No.7、No.8、No.10、No.12、No.13、No.18) 食事のとり方やマナー、あいさつ、食事の盛りつけ方、食事習慣などについての項目。日々の給食の時間あるいはおやつ時間で、子どもたちと一緒に確認をしながら実施しており、また、給食だよりや保健だよりによって家庭にも共有している。特に、コロナの5類移行を受け、みんなで食を楽しむということができるようになったので、家庭でもぜひ推進していただければというところを伝えている。
- ・(P5・No.9、No.16、No.17、No.19、No.20、No.21、No.23、No.83) 園庭の菜園で野菜などを育てて、それを給食で食べる経験をしている。また、地域の農家さんに協力していただき、例えばサツマイモであれば、サツマイモの苗植えから始まって、途中、生育状況を見学しに行き水やりをして、秋には収穫、収穫したものを調理して食べるといったような、一連の流れを経験できるような機会を設けている。園庭には、実のなる木を植えて、それを使ったジャム作りなど、そういう経験ができるように取り組んでいる園が多くある。
- ・(P6・No.79) 子どもたちの生活や活動について、写真を使用して保育士等が解説する「ドキュメンテーション」をHPに掲載したり、保育アプリで保護者に見てもらえるように配信したりしている。収穫体験や給食、おやつの様子、その中でマナーを確認している様子なども「ドキュメンテーション」を通じて、家庭と共有している。

### 【酒田市法人保育園・認定こども園協議会】

- ・本協議会は、21施設で成り立っている。調査票は、各施設の取り組みを総合的に記入している。
- ・(P7・No.1) 「食育の日」がなかなか家庭に浸透していないところから、市が作成した、あののん・もしえのんの塗り絵を利用して、子どもたちが塗り絵をしたものを家に持ち帰り、「食育の日」を家庭に周知するという取り組みをしている園がある。また、毎月19日に、HP上に「食育の日」ということを掲載し、保護者に共有するように取り組んでいる園がある。来年度の取組みとしては、「食育の日」をさらに浸透させていくために、19日前後に、誕生月の園児と保護者とで一緒に会食をするという企画を考えている園がある。コロナ禍でなかなか親子の会食ができなかったため、来年度の抱負としてあげている。
- ・(P7・No.2) 市の食育出前講座やヤクルトの出前講座をうまく活用している。また、保育の中で「食育ランド」という子どもたちが親しみやすい名前をつけて、遊びの中に食育が位置付けられるように取り組んでいる園がある
- ・(P7・No.7) 「命をいただく」ということを特に大事にしており、畑活動や絵本を使いながらその意味を子どもたちに伝えている。
- ・(P7・No.9) 各園それぞれで食育計画をたてている。子どもたちにとって、咀嚼がなかなか難しいという点から、「カミカミレシピ」という年間計画をたてて、月一回自分たちで握ったおにぎりの中にいろいろな具材をいれて食べるという取り組みをやっている。
- ・(P7・No.17) 地域の方から協力をいただきながら、「庄内米」に特化した活動をした園があった。
- ・(P7・No.19) 絵本と野菜を関連づける活動はたくさんやっている。例えば、野菜を切った断面がどうなっているかということに関心がある子どもが多いので、断面が書いてある絵本と実際に自分で育てて切った野菜の断面の違いを見比べるなどしている。
- ・(P8・No.21) 地産地消を推進していくために、地元の生産者から食材を購入するようにしている。
- ・(P8・No.29) 年間テーマに合わせて地域のふるさとまつり等で、毎月の誕生会のメニューやおやつ写真を展示して、地域の方から関心を持っていただいている。
- ・(P8・No.38) 旬の魚の模型を給食室の前に展示している。子どもたちは魚の断面や食べ方等に関心を持ってきている。
- ・(P9・No.64) 行事食を給食で提供している。どうしてこの食材を使って、どんな意味などといった由来を、子どもたちがわかるように伝えている。その中で、寒鱈の解体を実際に見たりするなどして、地元の食材

に関心を持つように取り組んでいる。

- ・(P9・No.80)SDGsの観点での取り組み。生ゴミから有機肥料を作っている。自然サイクルを意識できるような活動をしている。
- ・来年度に向けては、多くの園でデジタル技術を取り入れながら情報発信をしていきたいという点があげられた。

#### 【酒田市公立保育園】

- ・公立保育園は5園であり、各園の取り組みを記入している。
- ・コロナが5類に移行したことで、今まで実施できなかったクッキングやバイキング給食等に少しずつ取り組むことができるようになった。
- ・食育計画、大きな目標は5園で統一しており、それに基づいて各園での取り組みを行っている。
- ・(P10・No.1、No.2、No.8、No.12、No.13、No.23、No.24、P11・No.26)食育だよりを、ICT システムを利用して保護者に配信している。また、毎日の給食について、以前は本物のサンプルだったが、今はデジタルを活用して、写真の掲示で保護者にお知らせしている。写真になったことで、以前は幼児食だけのサンプルだったが、離乳食(後期食や完了食)についてもお伝えできればと思っている。
- ・(P11・No.27、No.37)離乳食の取り組みに力を入れており、保護者と一緒に取り組んでいる。口の動きの発達や、どんな食器、食具を使うといいのか等を、子どもたちに提供しながら職員が学び、それを家庭にも伝えている。
- ・(P10・No.8、No.12)出前講座を活用しながら、朝ご飯の大切さや歯磨き習慣を学ぶ機会にしている。
- ・来年度については、これから各園で取り組みを検討していく。

#### 【酒田飽海 PTA 連合会】

- ・研修会で「弁当の日」という映画上映を行った。子どもに料理を作らせることについて、また、どうしたら各家庭で子どもたちが料理を作ることができるのか、意見交換を行った。
- ・連合会全体で統一した取り組みというより、各学年、各学校によって、食育を推進するさまざまな取り組みをしている。

#### 【酒田地区歯科医師会】

- ・おいしく食事をとるために、自分の口と健康に興味を持っていただき、健康な口を作ることを目標に活動している。
- ・(P12・No.15)コロナ禍の3年間は市民を対象にリーフレットを作って啓蒙活動を行っていたが、今年度は市民公開講演会を開催した。大阪大学の先生をお招きし、健康と体の関係をテーマに講演し、120 名以上の方々に参加いただいた。在宅療養者に対しての歯科訪問診療依頼は 39 件で、去年の 23 件と比べると、やや増えているがまだまだ周知が必要と感じている。市と合同で行っている妊産婦歯科検診については、今年度からパートナーの方も一緒に検診を行っていて、9 月末時点で約 42%の方が受診している。パートナーの受診は約1割にとどまっている。
- ・(P12・No.32)在宅関連研修会を2回開催した。1回目は、ケアマネージャーや施設のスタッフ等、多職種を対象に研修し、2回目は日本海病院の医師や看護師を対象に、模型を使った実習を交えながら研修を行った。また、歯科合同研修会については、当会の会員が講師を務め、養護教諭や保育士、幼稚園教諭を対象に行った。

#### 【山形県栄養士会酒田地域事業部】

- ・(P13・No.32)栄養士会の会員は幅広く、地域活動をしている栄養士もいれば、病院や施設、学校、行政

に関わっている栄養士等さまざまだが、その中で、北庄内食援隊にも所属して活躍している方がいる。講師として派遣されることもある。今後も取り組みを継続していきたい。食育活動については、コロナ禍でなかなか独自の活動ができなかったが、今年度は酒田調理師専門学校こども食堂にて活動を行うことができた。そこでは、栄養士会で作成しているレシピ集や県産農林水産物の活用レシピを配布した。また、チャレンジブースを設けて、普段どのような野菜をどのぐらい食べているかを計量してもらい、会話やアドバイスなどを交えながら、1日の野菜の目標摂取量 350g という点を周知しつつ活動を行った。

#### 【酒田市社会福祉協議会】

- ・(P14・No.36) 市内において子ども食堂を運営する団体が5～6団体あり、生活面等で支援を必要とする子どもへの食事提供や地域の交流の場づくり、居場所づくりを行っている。子ども食堂に対して、地場産の食材や食べ物の提供をしている。具体的には、市内の企業・団体または個人の方から、お米やお菓子、レトルト食品等を寄付していただいて、それを食堂の材料に充ててもらおうフードバンク事業、また、こども家庭センターを通して家庭の食材の一部にてもらおう等の支援を行っている。子どもだけではなくて、例えば高齢者の中で支援を必要としている方あるいは緊急に支援が必要な方に対しても、市と連携しながら食材の提供を図っている。福祉的側面からの支援を食育と合わせて実施している。
- ・(P14・No.71) 2事業所の利用者に対して、郷土料理を提供している。その中でも、できるかぎり地元食材を使用した料理を提供していて、栄養管理ができ、かつ楽しい食事でも元気になるように事業を行っている。

#### 【酒田商工会議所】

- ・(P15・No.75) 「地場食材の講話と食事会」では、講師にラーメン店の社長をお迎えした。そちらでは麺に使用する庄内産小麦を栽培し、また、ラーメン全部をできるだけ地場産食材で作りたいという取り組みをしている。その事例をお聞きし、そのあとラーメンを実食した。当会は、企業の会員が約 1800 事業所ある。こちらの取り組みは、その中の食料品の卸売、小売、食料品を製造している企業約 200 社がメンバーとなり毎年企画している。
- ・先日、「酒田日本海寒鱈まつり」を実施した(事務局大会担当)。今年は天候に恵まれ、チケットはお昼前に完売、鱈汁も完売し大盛況だった。ただ、去年は食材を余らせてしまったこともあり、これについては、食をテーマにしたイベントの難しさだと感じている。思い通りにいかない部分もあるが、その中でも状況を見極めながら取り組んでいきたい。

#### 【庄内みどり農業協同組合】

- ・(P15・No.36、No.100) 管内の子ども食堂等への食材提供、また、中学校3年生への合格祈願米を提供した。
- ・(P15・No.39) 女性部で今年度は親子園芸教室を実施。来年度は、親子料理教室を開催予定。
- ・(P15・No.92) ①首都圏の小学校 62 校へ、水稻はえぬき苗の無償提供を行った。苗を提供した小学校の中で、さらに要望があった 23 校に対して出前授業を実施。さらに、その小学校以外で授業を希望している学校に対し、Web 授業を行った。
- ・(P15・No.89) 青年部事業で、「田舎まるかじりツアー」を開催。今年度は、高校生を対象にして、旬の地場産農産物をたくさん味わってもらおうという趣旨のイベントを実施した。

#### 【酒田市袖浦農業協同組合】

- ・(P16・No.32) 直売所「食彩工房いちご畑」では地元の食材をたくさん取り扱っており、すべての品目がすぐ近くで生産されたものであるため、直売所を利用していただくことが、地産地消につながっていくと思って

いる。この直売所で「朝市」は核となっている企画であり、毎年開催している。また、今年は「JA ビアホール」を開催した。今まで、地産地消と言いつつも、組合員が自分で作っている食材を食べていないという現状があったが、ビアホールを開催したことで、生産されているものを組合員に改めて食べてもらうことができた。また、ビアホールの中では、地元の鮮魚店からご協力をいただき、お寿司を握ってもらった。

#### 【山形県漁業協同組合】

- ・(P16・No.40)2ヶ月に1回、広報誌「すいさん山形」を発行している。この中で、庄内浜で今揚がっている魚の数量と金額についてランキング形式で掲載している。合わせて、HPにも掲載し周知を図っている。
- ・(P16・No.98)県・水産振興課と県卸売協会と連携し、山形市を中心とした県の内陸部において、庄内浜産の魚の販売促進の取り組み「旬の魚キャンペーン」を春・秋に実施した。量販店6社の協力のもと、庄内浜産の魚を通常よりも多く入荷してもらうなどして販売促進を図った。コロナ前は試食販売を行っていたが、今年度については行っていない。また、「おいしい山形」のウェブサイトにてキャンペーンの周知をしていただいている。

#### 【酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会】

- ・(P17・No.82)当協議会では、農業体験やそば打ち体験等いろいろなことをやっている。自分の例で言うと、山間部で農業を営んでいるため、山の食材のおいしさというものを農業体験の際に伝えている。例えば、同じ「はえぬき」でも、山間地で栽培されたものは格段においしい。というのも、山間地では朝霧が立つ。朝霧が立つということは、寒暖差があるということであり、その寒暖差がお米や野菜をおいしくしている。そういったことをアピールしながら、体験活動を進めている。
- ・(P17・No.87)コロナが流行してから県外からの受け入れがなかったが、県や市の力を借りながら受け入れ態勢を整備していきたい。
- ・(P17・No.88)協議会でマップを作成して、農業体験活動の体験者を募っている。
- ・全体的な底上げを図れるような協議会にしていきたい。

#### 【酒田市健康福祉部】

- ・(P18・No.61)高齢者支援課では、介護予防や栄養に関する知識の普及活動として、栄養口腔講座や、管理栄養士の方から低栄養予防の指導や助言を行う介護予防活動支援事業などを行っている。
- ・(P19 全体について)保育こども園課の詳細な取り組み内容については、私立幼稚園・認定こども園協議会、法人保育園・認定こども園協議会、公立保育園から説明があった内容とほぼ同じである。行政としてサポートしている部分については、ICTを活用した情報提供や、食生活改善推進委員や食品業者とタイアップしながらさまざまな食育活動をしている、ということである。
- ・(P19・No.79)法人保育園の園児が栽培したサツマイモの対面販売を市役所で行った。栽培から流通までの流れを体験していただいた。
- ・(P20 全体)健康課では、食生活改善推進員と連携しながらさまざまな啓発を行ったり、乳幼児健診のタイミングを利用しながら指導を行ったりといった事業を実施している。
- ・(P19・No.53、P21・No.79)食生活改善推進協議会と協同でレシピを作成している。特に令和元年に出版したレシピ本「酒田ごはん」が人気であり、今年度は書店に販売を委託した。

#### 【酒田市地域創生部】

- ・交流観光課は、酒田産物を紹介しながら、地域にお金をもたらす活動をしている。
- ・(P21・No.108)観光地域づくり法人・酒田DMOで、台湾企業との商談会を開催した。酒田産物を発信し、実際に販売を行った。あわせて国内でも、地域商社という地域の産物を首都圏等へと販路拡大していく

機能を持ちながら、東京商工会議所のメンバーに情報発信をしたり、首都圏で学校給食事業を営んでいる方に向けて酒田産物を紹介したりというようなことをしている。こうした事業を通して、酒田の産物と出会う機会が増えることをねらいとしている。

- ・(P21・No.110) ふるさと納税においてお米などの非常に優れた酒田産物を返礼品に取り入れることが、酒田の情報を発信する機会につながっている。米以外でも様々な農林水産物を返礼品として提供している。
- ・調査票に記載はないが、酒田のラーメンがご当地ラーメン日本一に輝いたことや日本酒がインターナショナル・ワイン・チャレンジで優秀な賞をいただいたことを受けた活動も行っている。
- ・商工港湾課は、商品開発や6次産業化の推進、eコマース(電子商取引)での販路拡大等の取り組みをしている。
- ・(P21・No.107) 新商品の開発には非常にお金がかかり、また、研究が必要だったりするため、補助金による支援を行っている。
- ・(P21・No.112) 商品開発事例やマーケットインの考え方、いわゆる消費者の要望やニーズを予めリサーチした上での商品開発、一定程度の販路を見据えて物を売っていく、ということができるようセミナーを開催した。

#### 【酒田市教育委員会】

- ・(P22・No.67, No.70) 5月は「ますのあんかけ」、9月は「芋煮」、1月は「鱈汁」、2月は「キモドの酢味噌和え」といったような地元の旬の食材による、酒田ならではの献立を提供している。あわせて、食育の日だよりを発行して、保護者へ情報提供を行っている。
- ・(P22・No.69) 学校給食における地産地消の取り組みとして、酒田産米による米飯給食を実施。このうち、ブランド米である「つや姫」と「雪若丸」の提供を計9回行っている。また、酒田産米粉による米粉パン給食を2回実施している。
- ・(P22・No.31) アランマーレ山形バレーボールチームによる食育講座を小学校 11 校で実施。選手やスタッフ数人で各校に訪問していただき、栄養素の話や食事で栄養を取ることの重要性について説明していただいた。子どもたちは一緒に給食を食べることができて大変喜んでいる。
- ・(P23・No.62, No.74) 「酒田愛ごはん」の講座を計5回開催した。郷土愛の醸成、郷土食への理解を深める機会になった。
- ・(P23・No.95) 10 月に市環境衛生課との共催で、駅前拠点施設ミライニにおいて食品ロスに関する展示を行った。東北公益文科大学と環境衛生課協同によるフードサルベージ事業の紹介やクイズを通しての啓発活動を実施した。

#### 【酒田市農林水産部】

- ・農政課では、令和5年度の新しい取り組みとして「食育優良活動表彰」を実施した。また、食育交流活動サポーター制度については、これまで、前年に実施した小学校等に対する活動に対して支援できなかった部分に改善を加えた。この2点は、令和6年度も引き続き取り組みを実施していく。
- ・令和6年度は、国の「みどりの食料システム戦略交付金」を活用して、酒田の農業をPRするための取り組みもできたらと思っており、イベントの開催も含めて検討しているところである。
- ・農林水産課では、今年度、「いかのまち酒田戦略会議」にて、酒田でイカを食べることができる場所について、実際の料理の写真を掲載しインスタグラムで発信する、という取り組みを始めた。令和6年度は、酒田産のイカがどこで食べられるかわからないという声があったことを受け、マップを作成し、地域の人にも食べていただけるように進めていきたい。

### **(3) 令和5年度食育優良活動表彰の開催報告及び令和6年度の開催(予定)について**

#### **【事務局】**

※それぞれ資料に基づき説明。

・令和6年度も引き続き実施していく。詳細なスケジュール等は委員長と相談しながら決めていくので、事務局に一任していただきたい。表彰対象の募集については、市 HP や市広報で実施する予定なので、委員の皆さまからもご理解いただき周知にご協力いただきたい。

#### **2. 意見交換**

時間の都合上なしとした。

#### **3. その他**

##### **【事務局】**

- ・本日の会議録は、委員の皆さま、幹事の皆さまも含めて、後日メールまたは郵送にて送付する。あわせて市 HP に後日掲載する。
- ・新年度、人事異動等で委員を交代される方がいれば、後任の方への引き継ぎをお願いしたい。

以上